

発行日	2023年10月1日
改訂日	

点検マニュアル

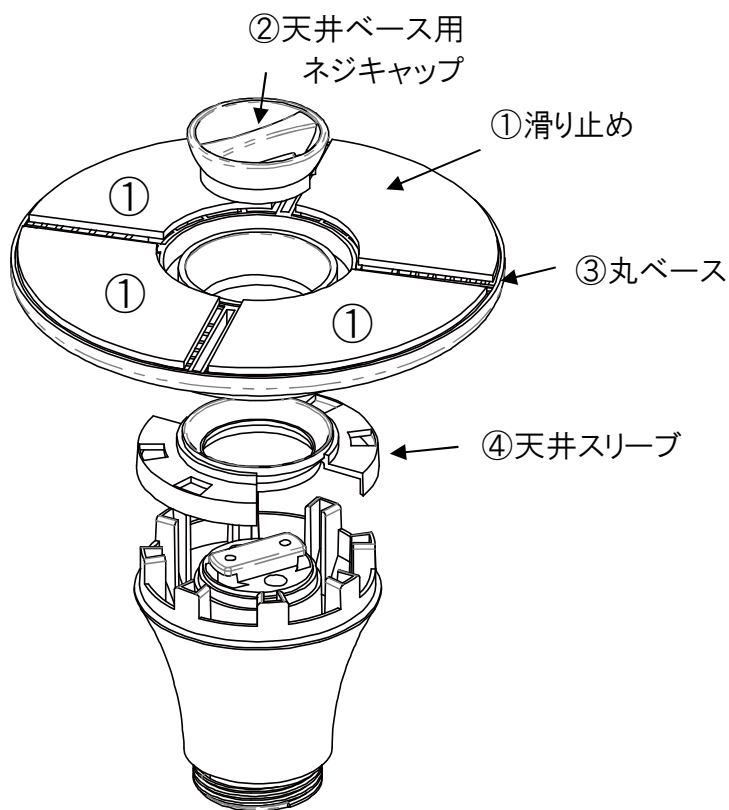
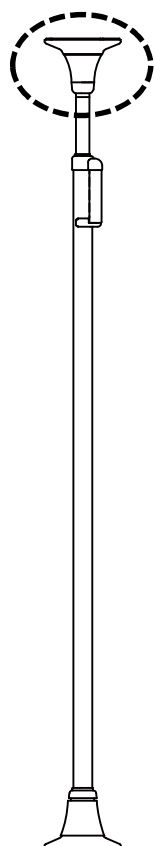


警告

- ボルト・ビス類は閉めすぎると折れたりネジ山をつぶします。
- トルク設定がある場合は必ず設定値で締めてください。
- 天井ベースや床ベースの取り付けは必ずネジ山を合わせて手で絞めてください。斜めに締めますと破損します。

天井丸ベース点検マニュアル

発行日 2023年10月01日
改訂日



①④※紛失注意

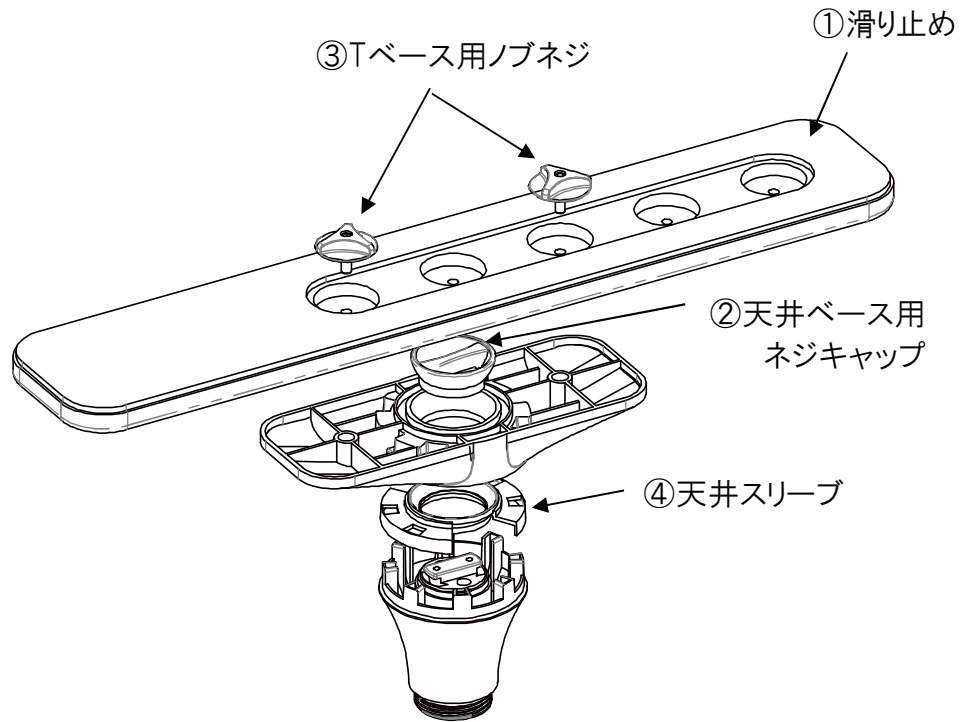
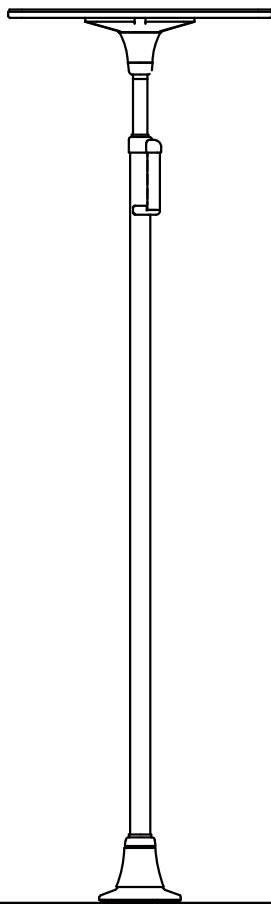
点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
①滑り止め	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ、付着物は除去	大きくズれていないこと 傷、へたりなどあれば交換 ※消耗品は早めに交換
②天井ベース用 ネジキャップ	作業実施	締まりの確認	空回りしないこと
③丸ベース	触診	回らないことを確認	回転しないこと 回転する→交換・修理 (グラつきは正常)
④天井スリーブ	目視	全体を目視する つけ忘れに注意	変形していないこと 割れ等ないこと
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 割れ等ないこと

天井Tベース点検マニュアル

発行日

2023年10月01日

改訂日



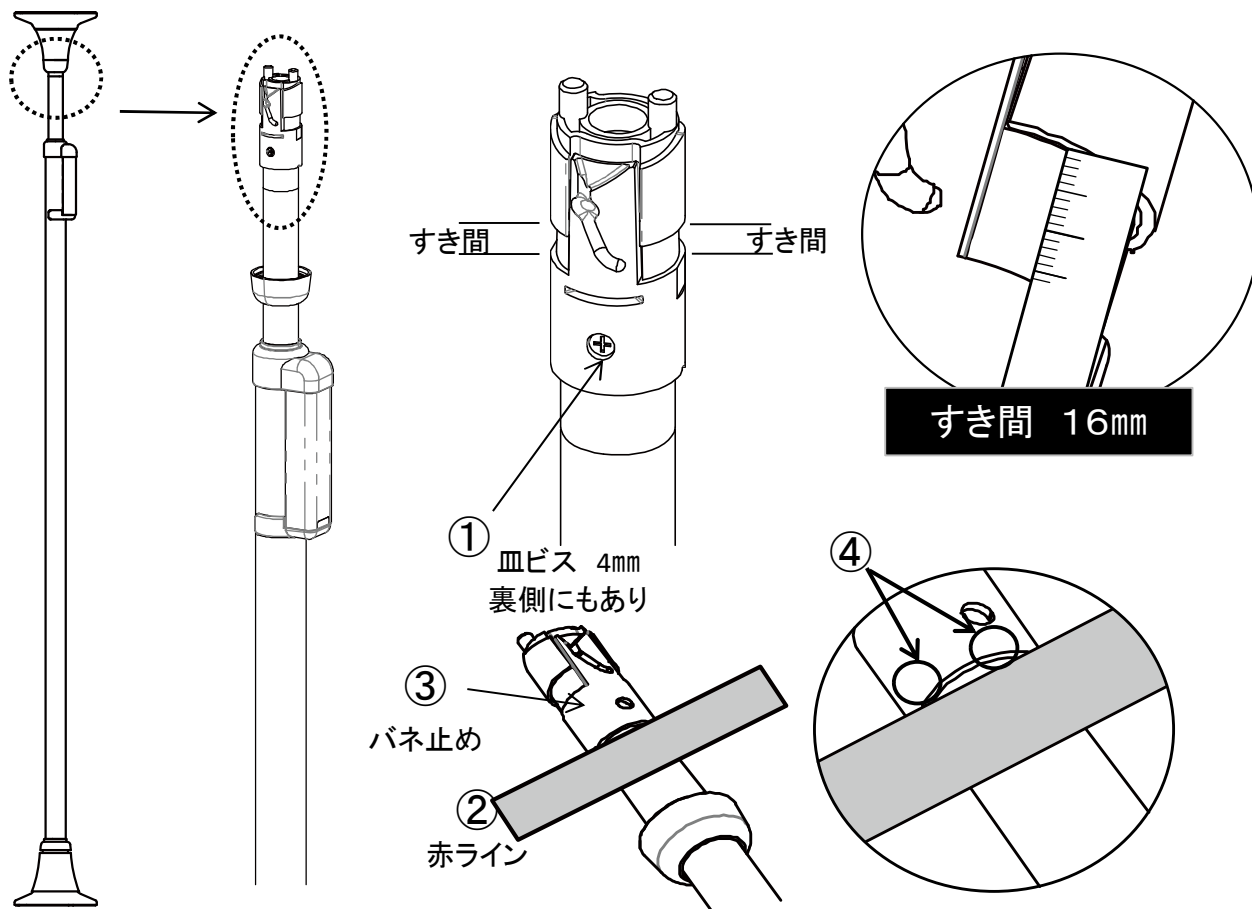
②③④※紛失注意

点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
①滑り止め	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ、付着物は除去	大きくズれていないこと 傷、へたりなどあれば交換 ※消耗品は早めに交換
②天井ベース用 ネジキャップ	作業実施	締りの確認 カチッと音が鳴るまで締める	空回りしないこと
③Tベース用 ノブネジ		固定の確認	木プレートにしっかり固定 されていること
④天井スリーブ	目視	全体を目視する つけ忘れに注意	変形していないこと 割れ等ないこと
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 割れ等ないこと

バネ止め点検マニュアル

発行日 2023年10月01日

改訂日



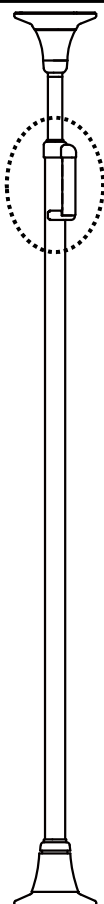
点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
隙間	計測	すき間計測	16mm
		16mmでない場合の対策 ※修理依頼 不具合が発生している可能性があります。 ①の皿ビスには回止処理が施されていますので 普通の+ドライバーでは緩まない場合があります。	
外観	目視	全体を目視する 汚れ、埃、塵	変形していないこと 割れ等ないこと 汚れ、埃、塵等がないこと
赤ライン	目視	全体を目視する	破れやズレ等ないこと
		赤ラインに破れ等がある場合の対策 赤ラインを③バネ止めの下端部に④接するように平行にし、パイプに巻き付けます。	

DIPPERホクメイ株式会社

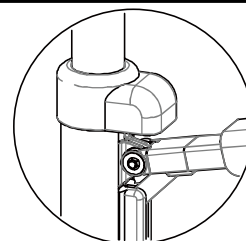
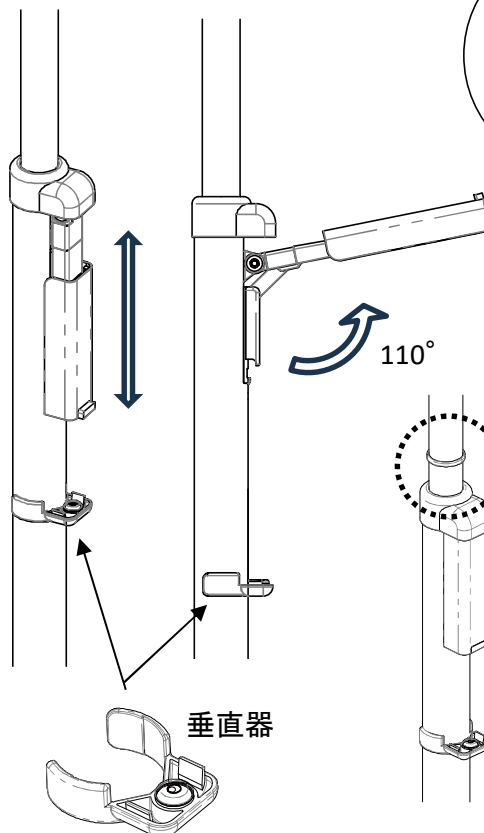
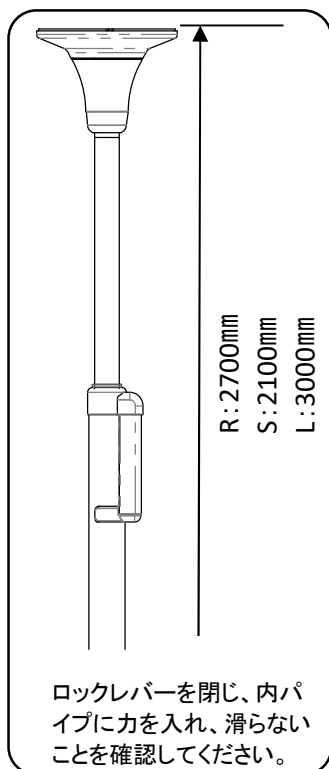
ロック点検マニュアル

発行日 2023年10月01日

改訂日



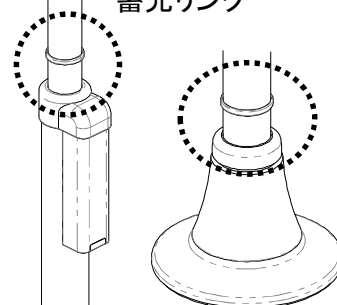
滑り確認方法



※メンテナンスフリー
分解できません

110°

蓄光リング



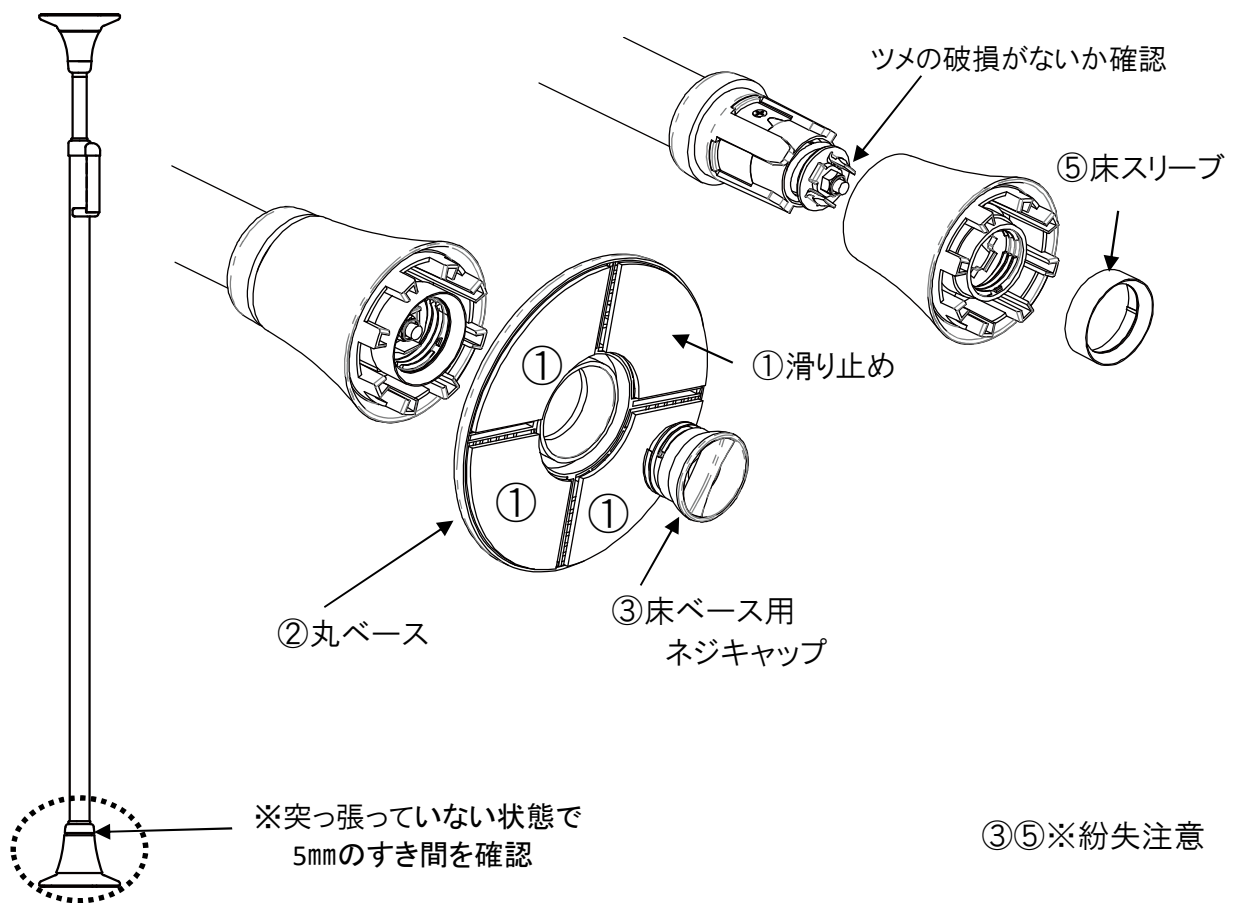
点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
内パイプ作動	作動操作	内パイプの上下作動確認 R:2700・S:2100・L:3000まで	スムーズに上がること 急激に下りないこと 制限以上に伸びないこと
ロックレバー作動 ロックボタン作動	作動操作	ロックレバーの作動確認 ロックボタンの作動確認 注意:内パイプを伸ばし切って レバー操作はしない	レバーがスライドすること 110°に開閉が出来ること ロックボタンが締まること
締付強度	作動操作	ロック状態で内パイプがズレ ないか確認	内パイプがズレないこと ズれる→修理扱い
外観	目視	全体を目視する 汚れ、埃、塵	変形していないこと 割れ等ないこと 汚れ、埃、塵等がないこと
垂直器	目視	垂直器のオイル内の気泡を 確認	劣化や気泡肥大の場合交換
蓄光	目視	汚れの確認 ※蓄光機能自体は半永久です	汚れがないか確認

DIPPERホクメイ株式会社

床ベース点検マニュアル

発行日 2023年10月01日

改訂日

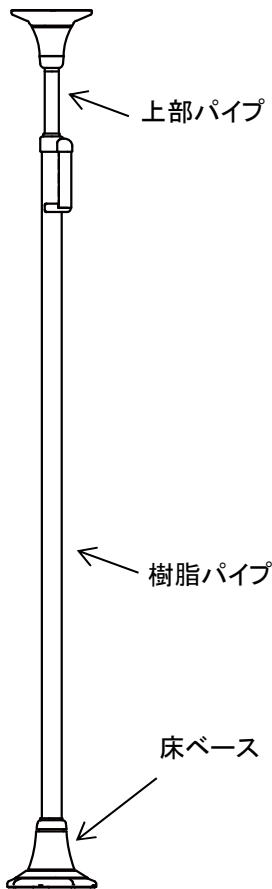


点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
①滑り止め ※耐水ベース含む	目視	貼り位置の確認 劣化確認 汚れ、付着物は除去	大きくズれていないこと 傷、へたりがある場合交換 ※消耗品は早めに交換
②丸ベース	触診	グラつき ②ベースはグラつきます	本体に固定できていること
③床ベース用 ネジキャップ		固定の確認 カチッと音が鳴るまで締める	カチッと鳴るあたりが弱い場合 交換
④すき間・上下作動	計測	すき間計測・上下作動確認	5mm 5mmでない場合修理依頼
⑤床スリーブ	目視	全体を目視 つけ忘れに注意	変形していないこと 割れ等がないこと
⑥パイプエンドのツメ	目視	割れていないか確認	割れてグラついていないこと 割れている場合→修理
外観	目視	全体を目視する	変形していないこと 割れ等ないこと

耐水ベース使用時点検マニュアル

発行日 2023年10月01日

改訂日

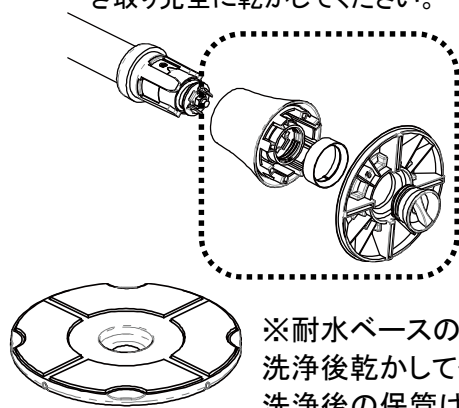


【注意】

上部パイプは錆びにくいステンレス鋼(SUS304)を採用していますが、塩害等の環境条件により錆びが発生することがあります。錆が発生した場合は、下記方法で取り除くことができます。

樹脂パイプ、床ベースの洗浄

床ベースを水洗いし、逆さまに置き水を抜いてください。その後、水分を拭き取り完全に乾かしてください。



※アウター止めが錆びた場合
修理対応

※耐水ベースの滑り止めは水洗いが可能です。洗浄後乾かして使用してください。傷んだ場合交換。洗浄後の保管は、付属の不織布で保護してください。

点検項目	点検方法	点検内容	判断基準
上部パイプ	目視 触診	全体を目視・触診する	変形していないこと 傷・割れ等ないこと 汚れ、錆びがないこと
		汚れ、錆が発生した場合の対策 汚れ：水拭き後、中性洗剤を使用し汚れを落とし、水拭き後、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。 錆び：もしアウター止めに錆が発生した場合は、バネ等の劣化・性能低下につながります。 →修理対応	
耐水ベース用ジョイント 耐水ベース	目視 触診	全体を目視・触診する	変形していないこと 傷・割れ、汚れ等ないこと
		水に掛かった場合の対策 床ベース受け・ジョイント・耐水ベースは水洗いし、必ず乾いた布で水分を拭き取り乾かしてください。	